

5 本体の設定を変更する

ビューアーソフトから本体の設定値を microSD メモリーカードに保存しておくことで、エンジンキーのオン時に、自動的に本体の設定を変更することができます。変更が可能な設定項目は以下の通りです。

(1) センサー感度

衝撃検知時の保護の際に反応しやすい場合や反応しにくい場合は、センサー感度を調節します。センサー感度は少しずつ調整し、「検知しやすい(保護されやすい)」/「検知しにくい(保護されにくい)」か、映像の記録状態をその都度確認してください。

(2) 音声録音設定


エンジンキーオン時の音声設定を「する」/「しない」を設定します。本体のスイッチでも「する」/「しない」を切り替えることができます。

(3) ブザーの音量

動作ブザー、イベントブザー、カード未挿入時のエラーブザーの音量をそれぞれ調節します。大、小、OFF の 3 段階から選んでください。

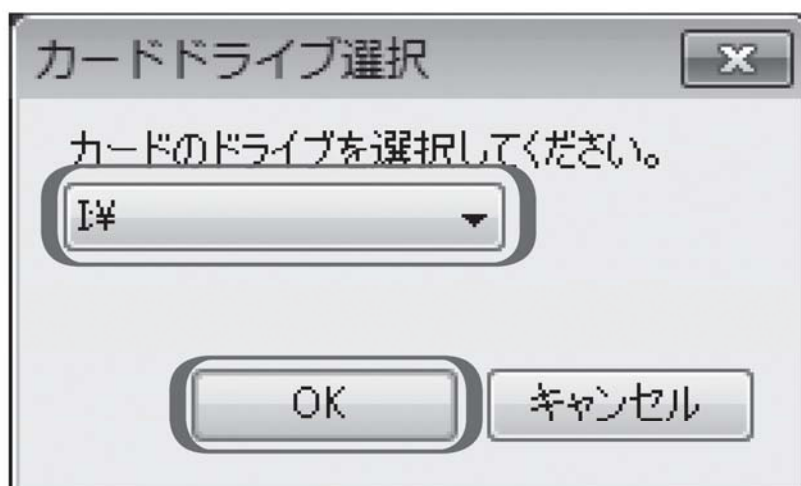
注意

- センサー感度はむやみに変更しないでください。
- センサー感度を低くした場合、不要なデータは保護されにくくなりますが、必要なデータまで保護されなくなる可能性も高くなりますのでご注意ください。
- 右左折やカーブで検知しやすい(保護されやすい)場合は、横軸補正の設定値を調整してください。

1. 本体から抜いた microSD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. ビューアーソフトを起動し、 をクリックするか、またはメニューの「設定」 - 「本体設定」を選択します。



3. microSD メモリーカードのドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。



 **ワンポイント**

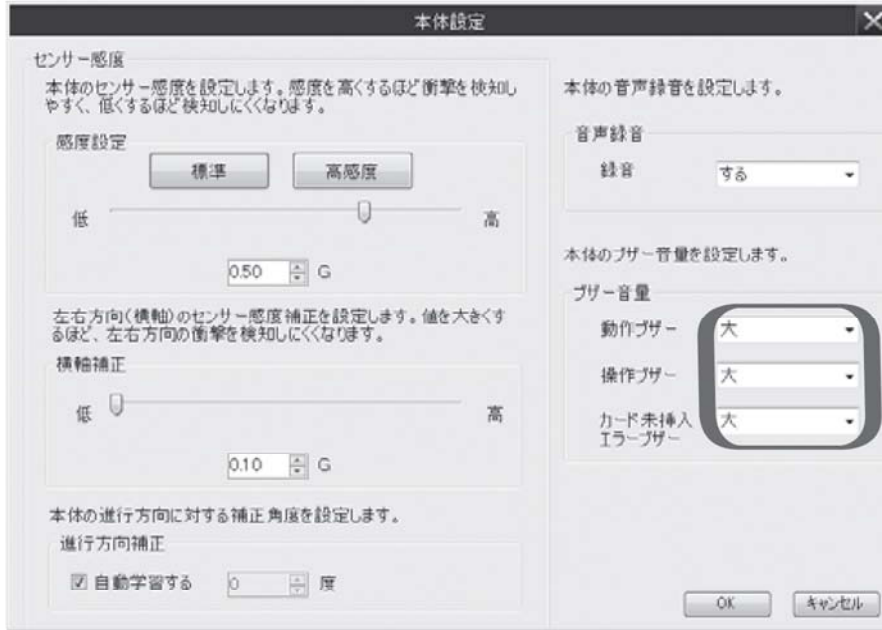
- microSD メモリーカードに動作記録がない場合（または、初めての場合）、「設定ファイルを読み込みません」とメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。
- microSD メモリーカードに以前の設定が保存されている場合は、以前に動作していた設定が表示されます。

4. 機種選択画面が表示された場合は、[DRT-H64 セパレートタイプ] を選択します。



本体設定画面が表示されます。microSD メモリーカードを正しく読み込んだ場合は、以前に動作していた設定が表示されます。

7. ブザー音量を設定します。



映像を記録する時などに鳴る動作ブザー、またはイベント（操作）ブザー、カード未挿入時のエラーブザーの音量を指定します。

8. [OK] ボタンをクリックします。

9. 設定保存の確認画面で、[OK] ボタンをクリックします。



microSD メモリーカードに設定を保存します。設定値を保存した microSD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

⚠ 注意

設定変更後は、実際の運転と照らし合わせて、衝撃を検知しやすい／検知しにくいことが無いか確認してください。その際、**危険運転（急発進、急ブレーキ等）は絶対に行わない**でください。